

## 乳腺・内分泌外科 初期研修プログラム

### 必ず習得するアウトカム

1. 乳房・甲状腺の適切な診察法を学ぶ
2. 乳腺疾患、甲状腺疾患の画像検査や病理検査について理解する
3. 外科医としての基本的手術手技を修得する

### 研修目的

乳腺疾患、甲状腺疾患には乳癌、乳腺良性腫瘍、炎症、乳腺や乳頭の発生・発育異常・甲状腺腫瘍など多種・多様な疾患が含まれる。これらの疾患を理解するためには、解剖学、病理学、生物学、生化学、生理学、内分泌・代謝機能学、薬理学、画像診断学、腫瘍学などの基礎医学の知識は必要不可欠である。これらを復習しながら臨床医学である乳腺外科学、甲状腺外科学を初期研修してもらいたい。

### 研修目標

#### ◇ 一般目標 (GIO)

主な乳腺疾患、甲状腺疾患の症候、診断と治療に関する基本的知識や技術を修得して、乳腺外科・甲状腺外科の臨床的問題を適切に解決できるようにする。

#### ◇ 行動目標 (SBOs)

1. 乳房の構造と機能を説明できる。
2. 乳腺に対する女性ホルモンの作用を説明できる。
3. 乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、CT、MRI など）を説明できる。
4. 乳房腫瘍に対する細胞・組織診断法を説明できる。
5. 乳房腫瘍、異常乳頭分泌（血性乳汁）や乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。
6. 乳腺良性疾患（腫瘍、炎症、形態異常など）について説明できる。
7. 乳癌の疫学、危険因子、症候、診断、治療（手術、放射線、薬物など）、再発、予後などを説明できる。
8. 乳癌の術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。
9. 乳癌リハビリテーションの適応、効果、方法などを説明できる。
10. 男性乳腺疾患（女性化乳房、男性乳癌）を説明できる。
11. 甲状腺疾患（腫瘍、炎症など）について説明できる。

#### ◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

乳癌手術症例：10 例 助手として経験可能

良性乳腺疾患：30 例 外来医として経験可能

甲状腺疾患：5 例 外来医として経験可能

### 研修方略

LS	方法	該当 SBO s	対象	場所	媒体	人的資源	時間	学習時期
1	外来研修	1~11	指導医 研修医	外来	カルテ	指導医 研修医	3時間	毎日
2	病棟研修	7~9, 11		病棟	実技		2時間	毎日
3	外来生検	4, 6, 7, 11		外来			1時間	随時
4	手術研修	7~9, 11		手術室			3時間	木午後
5	画像・症例 検討	3~11		外来	カルテ		1時間	月午後

### 研修評価

SBO s	目的	対象	測定者	時期	方法
1~6, 10, 11	形成的	知識、態度	指導医	研修中	口頭試験
7~9		知識、技能			技能試験

### 週間予定表

	午前	午後	夕方
月	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診 画像・症例検討会
火	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診
水	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診
木	病棟朝回診 外来研修	手術	病棟回診
金	病棟朝回診 外来研修	検査・処置	病棟回診

### 指導責任者および指導医

指導責任者： 鈴木昭彦

指導医： 朴 英進、渡部 剛

学生（4~6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・  参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制  
指導可

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：3ヶ月）  
1名/1クール